



【スローガン：「Do One's Best!」(何事も全力で)】

発行 古河市立三和東中学校
発行日 平成29年11月17日(金)
H P sanwahigashi.koga.ed.jp

芸術の秋に個性と創造性あふれる力作を出品！ ～三和地区絵画書道展・県芸術祭美術展覧会～

11月3日(金)～5日(日)に三和健康ふれあいスポーツセンターで平成29年度三和地区小中学校絵画書道展が開催されました。本校からも、国語科や美術科学習の一環として制作した書道や絵画、夏休み中に生徒が取り組んだ統計グラフ作品などの力作が数多く出品されました。また、11月29日(水)～12月3日(日)には、茨城県小中学校芸術祭美術展覧会が開催されます。

【作品出品者】(敬称略・名前順は学年ごとの50音順です。)

絵画・デザインの部					
年	県展出品	名前	年	県展出品	名前
1		佐藤 咲	2		岡野 夏妃
1		須藤 陸	2		河野 七星
1	○	塚原 未音	2		佐久間 なのは
1		塚原 育美	2		菅原 未来
1		蛭田 まるあ	2		高橋 友香梨
1		峯本 妃奈乃	3		飯田 優稀
1		峯 唯華	3		今田 大哉
1	○	渡辺 彩香	3		上野 莉穂
2		朝日 瑠南	3		海老原 秋璃
2	○	大塚 麻衣			
書写の部					
1		石丸 綾音	2		大竹 優奈
1		石澤 莉子	2		大塚 麻衣
1		大谷 夏穂	2		小川 葉月
1		小倉 一真	2	○	河野 七星
1		関 斗哉	2		小泉 椋生
1		関 悠太	2		富張 萌花
1		塚原 育美	2		原本 理夢
1		峯 唯華	2		古谷 優人
統計グラフの部					
3		海老原 秋璃	3		諏訪 真琴
3		佐藤 なほ	3		富張 碧斗

茨城県小中学校芸術祭美術展覧会

◇期日 11月29日(水)～12月3日(日) ◇場所 茨城県民文化センター
◇時間 午前9時～午後5時(入場は4時30分まで)

大盛況！～青少年のための科学の祭典

11月11日(土)に、古河市青少年のための科学の祭典が開かれました。三和東中学校は、学校ブースとして、「貝のキーホルダーづくり」に取り組みました。当日は本校から9名の生徒が参加し、ご来場されたお客様一人一人に、貝のキーホルダーの作り方について丁寧にアドバイスを送っていました。おかげで本校のブースは、大変な盛況ぶりで順番を待つ長い列ができていました。



平成29年度古河市音楽会－絶え間ない拍手と多くの称賛の声！

11月8日(水)・9日(木)に古河市小中学校音楽会が開催されました。本校は11月8日(水)の午後の部7番目に東輝祭で金賞を受賞した3年2組が「青い鳥」の合唱を、そして9番目に吹奏楽部が「槿の花～千利休が愛した女」を演奏しました。



どちらの発表も、東輝祭などでの経験を自信に変え、より一層力強く、堂々とした発表でした。発表後は、そのすばらしさに会場から絶え間ない拍手が送られるとともに、ご来賓の方々などから多くの称賛の声をかけていただきました。ご多用の中、会場に足を運んでくださった保護者の皆様、ありがとうございました。また吹奏楽部の保護者の皆様には、この音楽会をはじめ、様々な発表の場において、準備・片付け等、たいへんお世話になりました。本当にありがとうございました。

「11月8日、いい歯の日」に向けて－保健集会が行われました

11月6日(月)の全校集会では、保健委員会と給食委員会による、「11月8日、いい歯の日」に向けた保健集会が行われました。茨城県では、11月8日(いい歯の日)に合わせて、11月8日～21日を「茨城県8020・6424運動推進期間」としています。そこで本校でも、給食後の「歯磨きタイム」、「噛ミンク30(一口で30回噛みましょう)」や「いばらきを食べよう運動」等と関連づけ、全校生徒が歯と食に関する意識を高め、歯を大切にしようとする生活習慣の定着を図っています。保健集会はその一貫として行われ、「三和東中8020・6424運動・噛ミンク30」のテーマで、スライドを使った説明やクイズなどで、保健委員会と給食委員会の生徒が健康な歯や噛むことの大切さ、歯にいい茨城の食材などについて、楽しく分かりやすく紹介しました。これを機会に、ご家庭でもぜひ歯の健康や食について話し合ってみてください。



第9回古河市中学生の主張大会において舟橋優斗さんが発表

11月15日(水)、とねミドリ館において、中学生の主張大会が開催され、本校からは2年生を代表して舟橋優斗さんが出場しました。舟橋さんは「手のひらの中の便利さと危険」という題で「人と人が最良のコミュニケーションをとるには何が大切か」ということについて堂々と発表しました。以下に、舟橋さんの発表内容の要約を掲載します。ご家庭においても、お子さんとの会話のきっかけにしてみてください。



三和東中の生徒の約75%に当たる人はスマートフォンを持っています。借りている人も含め、全校生徒のほとんどの人がスマートフォンを使っています。僕も自分のスマートフォンを持っています。スマートフォンにより僕の生活は少しずつ変わり、ラインも頻繁に使うようになってきました。ふと見たテレビ番組で、ある中学生がラインのやり取りでいじめにあったという体験を話しているのを目にしました。ラインの何気ないやり取りにより、その子に対する「無視」が始まったというものでした。僕もいくつかのグループラインに入っています。友達同士、同じ話題で話ができるとても安心します。でも、すぐに返さなければならぬと思うと気が重くなり、思いがストレートに伝わらないことからトラブルに発展することもありました。一日に流れるメッセージは約130億。一人あたりがやり取りするメッセージの数を計算すると膨大な数です。でも気を付けなくてはならないのは、メッセージだけでは伝えきれないものもたくさんあるということです。いじめについて語っていた中学生も、お互いに相手の顔を見て話をすれば、その場の雰囲気や相手の表情からメッセージ以上の思いが伝わったはずなんです。どんな素晴らしいアプリケーションでも、同じ空間で同じ雰囲気を味わいながら、相手の顔を見て話をすることにはかなわないと僕は思います。「相手の顔を見て話をする」それこそが、お互いをお互いに分かり合える最良のコミュニケーションではないでしょうか。時や状況に応じて、「どのような手段を使い、どう使い分けていくか」ということが、これからの時代を生きていく僕たちには大切なことです。どんな時も、正しい判断のできる自分でありたいと思います。(発表内容を要約)